

福島・荒田目条里制遺構
あつためじょうりせい

- 1 所在地 福島県いわき市平菅波字明星町ほか
- 2 調査期間 二〇〇二年(平14)十一月～二月
- 3 発掘機関 いわき市教育委員会・(財)いわき市教育文化事業団
- 4 調査担当者 木幡成雄・斉藤美穂
- 5 遺跡の種類 水田跡・水路跡
- 6 遺跡の年代 縄文時代～近世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(平)

荒田目条里制遺構は、夏井川下流右岸の沖積地に位置する遺跡で、市道改良事業に伴って調査が実施された。郡符木簡などが出土した

荒田目条里遺跡(本誌第一七号)とは隣接した位置関係にある。

調査は、試掘調査により確認された溝跡を中心に実施した。調査の結果、溝跡二条、土坑五基を検出した。遺物は、主に溝跡の覆土中から出土しており、一八世

紀の陶磁器や漆器碗・盆、曲物をはじめとした木製品などがみられる。

木簡は、第一号溝と第五号土坑から、計二点出土した。

8 木簡の釈文・内容

第一号溝

- (1) 「神主 うもん」
80×28×5 011
- 「大ほけ」

第五号土坑

- (2) 
(132)×22×4 019

(1)は小型で、下端に割れがあるが、完形品である。頭部は圭頭状で幅が広く、下端は幅をやや狭くしている。(2)は下端が欠損している。頭部は山形に整形されている。

9 関係文献

いわき市教育委員会・(財)いわき市教育文化事業団『荒田目条里制遺構』(いわき市埋蔵文化財調査報告一〇二、二〇〇四年)

(木幡成雄)



(1)